

平成5(1993)年 東ゾーンにみちばた広場完成

遊具の丘は、市バス道側の西ゾーンと東側の桜広場の二ヶ所にあります。

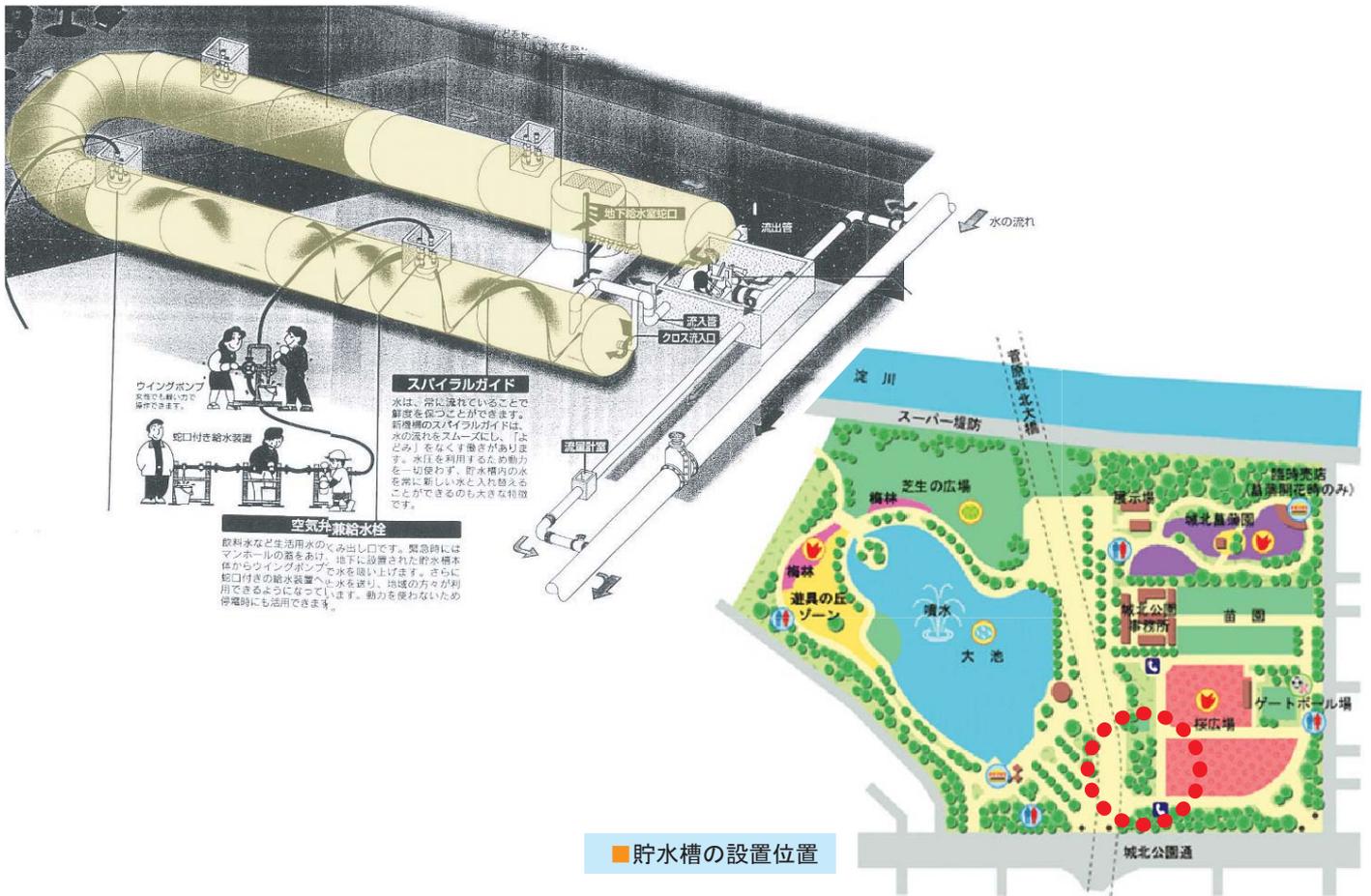
飲料用耐震性貯水槽が地下に!

平成7(1995)年 平成7年度、城北公園の地下に市内初めてとなる**4百トン**の飲料用耐震性貯水槽が設置された。この設備では、災害直後の3日間、一人一日3リットルで4万4千人分の飲料用など必要最低限の水を確保します。

直径3m、長さ57mの水道管がU字型に埋設されています。

(現在は、市内9箇所の公園にあります。)

■貯水槽のイメージ



平成8(1996)年 西ゾーンの池の護岸整備がされ、大きく華やかに噴水上がる池をめぐる**並木散策路**が完成。



憩いの売店は、池そばにあり
三角錐二枚重ねの屋根が見事!



シエル(貝)型風の休憩所は、ヨーロッパ的!



メタセコイヤ、桜、梅などステキ並木道!

桜広場



春

公園初期から多くの人々を集め愛された、美しい雲海に似た(頬をなでる)桜は見事！
今もお花見シーズンには多くの人で賑わいます。
5月の若葉も一段と美しく、ステキな森林浴！

■桜が満開の城北公園

現在の菖蒲園

初夏

現在、園内には和風・中国風の東屋、休憩所、回遊道、小太鼓橋、丸太橋が立派に丹精された多くの菖蒲の花華とよくマッチし、引き込まれた淀川の水の流れとともにすてきな情緒を感じさせてくれます。

菖蒲園期間中は、市内各地から五月下旬から六月半ばまで、多くの鑑賞者が来園します。花しょうぶフェスティバルは平成22年度には第20回を数え、フリーマーケットなど毎年賑やかさを増している。また、フェスティバルの当日の夜間は、花しょうぶと音楽の夕べを開催している。



(写真：城北公園事務所)



■園で見られる菖蒲 (写真5点：上田泰彦)

城北菊花展

秋

城北菊花展も、毎年11月に開かれています。無料です。昭和30年代から栽培されており、市役所、大阪城、天王寺動植物園、長居公園にも出展。

懸崖菊・盆栽菊と手入れの素晴らしさに、又、車椅子目線にも合わせた展示が優しいです。

嵯峨菊・伊勢菊・江戸菊の古典菊の香りも会期中漂うように、丹精されています。



■展示物(写真：上田泰彦)



■案内リーフレット